令和6年度 県立こやの里特別支援学校本校 キャリア教育 発達段階表

	1 22 7112	工工代码主行剂。		・ イヤクア教育 先達教育教 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		中学部		高等部	T
学校— 目標	キャリア発達の段階		職業及び生活にかかわる基礎的スキル獲得の時期		職業及び生活にかかわる基礎的スキルを土台に、それらを統合して働くことに応用するスキル獲得の時期		職業及び卒業後の家庭生活に必要なスキルを実際に働く生活を 想定して具体的に適用するためのスキル獲得の時期		卒業後
子どもが育つ学校基礎的・汎用的能力	キャリア発達段階の解説と発達課題		①遊びから目的が明確な活動へ ②扱われる素材が身近なものから地域にあるものへ ③援助を受けながらの活動から自主的・自立的活動へ ④働くことに対する夢や意欲を育てる		①変化に対応する力 ②自己及び他者理解を深める(自らのよさや仲間のよさを認める) ③実際的な職業体験を通じて自らの適性に気づく ④やりがいや充実感の体感 ⑤職業の意義、価値を知る ⑥自己の判断による進路選択		①自らの適性ややりがいなどに基づいた意思決定 ②働くことの知識・技術の獲得と必要な態度の形成 ③必要な支援を適切に求め、指示・助言を理解して実行する力 ④職業生活に必要な習慣形成 ⑤終済生活に必要な知識 ⑥余暇の活用		41
	職業的(進路)	き達にかかわる諸能力 領域にかかわるスキル	小学部段階において 育てたい力	具体的な取り組み内容	中学部段階において 育てたいカ	具体的な取り組み内容	高等部段階において 育てたい力	具体的な取り組み内容	┤社
	7月49	①自分や他者の良い点を	人とのかかわり	・朝の会で友達と握手する ・友達の名前を呼んで関わることができる ・友達の活動を見たり聞いたりする ・「おはよう」「さようなら」の挟拶ができる	自己理解	・名前を呼ばれたら返事ができる、自分のカードをはれる ・一日頑張ったことを発表できる ・一日を振り返って日記を書くことができる	自己理解	・自己紹介シートの作成を通して自分の得意なこと、好きなことを考える ・課題学習で自分で取り組む内容を選び、毎日取り組む ・自己紹介で名前や趣味などを言うことができる	中で自分
	形成•	知る ②学校での活動をよりよく するために必要な人とのか かわりを形成する			他者理解	・友達の発表を聞くことができる・友達の手助けをすることができる・友達の立場にたって考えることができる	他者理解	・友達のことを理解し、困っているときには快く助ける ・人との適切な距離を保って関わる ・話し合い等を通じて自分と異なる意見を聞き理解する	
	形成能力	③協力、共同して集団活動 における役割を果たす (科社会生活を送る上で必 要となる適切な意思表現の 力を高める	集団参加	・朝の会で着席し前に注目する ・散歩や歩行で友達と手をつないで歩くことができる ・集団での行事に参加し活動することができる	協力・共同	・活動に友達と一緒に参加することができる・友達と一緒に移動をすることができる・友達を手伝うことができる	協力·共同	・集合、整列、移動など集団行動ができる ・友達と協力して壁面等の制作活動をすることができる ・係の仕事を責任を持って果たすことができる	
			意思表現	・「トイレに行きます」のカードを指さししてトイレに行ける・給食のお代わりを要求できる・肩をトントンとたたいて教師を呼ぶことができる	意思表現	・カードで気持ちや意思を伝えることができる・困ったときに助けを求めることができる・体調不良やストレスを訴えることができる	意思表現	・自分の要求を表現することができる ・困ったとき、分からないときに丁寧な言葉で依頼する ・意見等を挙手をし指名されてから発表する	の役
		①場や状況に応じて適切 に行動する ②社会生活を営む上での 必要なるルールの理解と行 動 ③労働の対価としての報酬 の価値に気付く ④職業が人々の生活に とって欠かせないものであ ることを理解する	挨拶、清潔、身だ しなみ	・教室の入口で登下校時に挨拶をする・トイレや外遊びの後、給食前に手洗いができる・着替えをすることができる	場に応じた言動	・接拶をすることができる ・お礼やあやまったりすることができる ・「失礼します」「お願いします」「どういたしまして」と言え る	場に応じた言動	・相手に応じて挨拶することができる ・目上の人に敬語で話すことができる ・教室の入退室で挨拶し、行き先を伝えてから教室を出 る	割を
			社会の決まり	- 遊真で順番を守ったり、物の貸し借りをすることができる。 る・交通ルールを守ることができる・・交通ルールを守ることができる・・マナーを守って公共交通機関が利用できる	社会の決まり	・順番を守ることができる・時間を守ることができる・約束を守ることができる	法や制度の理解	・交通ルールや公共交通機関のマナーを守って利用できる ・生徒会選挙で適切に投票することができる ・携帯電話等をマナーを守って使用できる	果た
	上 自己理解・ 性 自己管理		金銭の扱い	・欲しい物と交換にお金を出せる ・自動販売機で買い物ができる ・お金を支払って商品を買うことができる	金銭の管理	買い物でお金を渡すことができるお釣りを受け取ることができる金種を理解することができる	消費生活の理解	・自分の必要な物を選んで買い物をする・小遣い帳をつけ、お金の管理をすることができる・予算の範囲内で買い物をすることができる	しな
	逆 ⁶ 能男 ^性 う		役割の理解と分 担	・決められた仕事を最後まで行うことができる・決められた仕事を覚えてすることができる・朝の会の司会の手順がわかり進行ができる	役割の理解と実 行	・クラスの係の仕事をすることができる・係の仕事の役割を理解することができる・日番の仕事をすることができる	役割の理解と実 行	・係の仕事を自主的に取り組む ・朝の会や終わりの会の進行を理解して司会を行う ・役割分担を理解して清掃することができる	がら
	P.		習慣形成	・給食後にはみがきをする・定時に排泄する・使った物を片付ける	習慣形成	・席を立つときイスをしまうことができる・自分の荷物の整理をすることができる・外から帰ると手洗い、汗をかいたら着替えることができる	習慣形成	・ 総食時に自分からエプロン、三角市、マスクが着用できる ・ 必要に応じて手洗い、はみがき等できる ・ 荷物の準備片付け、管理ができる	`
]				働くことの意義	・体験活動に参加することができる・作業学習でさまざまな作業を体験することができる・丁寧さや正確さを意識して作業をすることができる	働くことの意義	・実習で作業内容を理解し、継続的に作業に取り組む ・苦手な仕事にも積極的に取り組む ・実習を通して卒業後の社会で働くイメージを持つ	日分:
		①興味のある活動や職業等に関する様々な情報を収集に開する様々な情報を収集に用する成功意味を理解して選択、決定する。 ③選択に中で実行することを通して、責任を果たす意味を理解する。 「会は、対して、責任を果たす。 をは、対して、責任を果たす。 のもの判断で目標を決める。 「新規に対して自ら評価する	様々な情報への 関心	・ごっこ遊びで自分の役割を選択する・絵本を通して職業を知る・お店やさんごっこをする	情報収集と活用	・高等部の校内実習を見学する ・一日の学習活動の流れを理解する	情報収集と活用	・一日のスケジュールをみて行動することができる・インターネットを利用して交通手段等を調べる・「報告・連絡・相談」することができる	らしい
			目標設定	・ランニングで何周走るかを決めて走る・朝の会で今日ー日頑張ることを決める・給食で食べる量を決めてから食べる	目標設定	・ランニングの周数を完走することができる・作業学習で目標となる個数を決めて作業できる・学期ごとの頑張ろうとする目標をたてることができる	目標設定	・実習で目標や作業量を決めて取り組む ・学期の始めに目標を考え、意識して日々の活動に取り 組む	
	課題対応能力		選択	・校外学習で自分の乗りたい乗り物を選ぶ・遊ぶ場所を選択する・今日の天気カードを選択する	選択(決定、責任)	・好きな遊びを選ぶことができる・係の仕事を選ぶことができる	選択(決定、責任)	・課題学習で複数の選択肢から取り組む課題を選択する ・自分で取り組みたい係活動を選択し取り組む	き方
			振り返り	・図工で制作した作品を鑑賞する・今日楽しかったことを選択して発表する	肯定的な自己評 価	・ 日頑張ったことを発表できる・ 取り組みについて自己評価することができる	肯定的な自己評 価	・一日の感想や頑張ったことを発表できる ・実習で作業を振り返って自己評価を行う ・行事で頑張ったことを振り返る ・時間を意識して授業の準備や移動を行う	を実
							自己調整	・一日のスケジュールを把握して見通しを持って行動る	現
	キャリア	①職業に対するあこがれを 持つ ②新しい生活や働くことに 期待を持つ		・お手伝いができる ・好きな遊びを広げる ・好きな遊びを広げる ・姆作業を通して農業に関心を持つ ・調理実習で飲食業に関心を持つ ・実習を通して生活スキルを身に付ける	夢や希望	・さまざまな職種を知る・一年間の行事や活動に見通しを持つ	夢や希望	- 行事などを通していろいろな体験をする - 卒業後の仕事や生活について知る - 特来の仕事についてソメージを持つ - 休憩時間に好きなことをして過ごす	する
	プランニ ング	③自立した生活を送るため に必要な役割遂行のスキ ル			生きがい・やりが い	・課題のはじまりと終わりを理解することができる ・学習内容を理解し、主体的に取り組める	生きがい・やりがい	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	能力	④職業生活に必要な習慣 形成のためのスキル ⑤よりよい選択を目指す態 度を身につける			進路計画	・ものづくり活動で作る楽しさを知り、準備から片付けまで取り組むことができる	進路計画	・実習や技能検定を通して必要な職業スキルを身に付ける ・実習や技能検定を通して進路についてのイメージを持つ	